

お知らせ

9月～10月は、秋の仲間を増やす活動月間です。
お知り合いの方で、東京土建未加入の建設従事者
の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

9月1日現在組合員数…2,021名



発行所
東京土建一般労働組合
南部ブロック会議
品川区戸越5-18-2
☎(3783)0471
代表者 井澤典一
定価 1部 50円
(購読料は組合費に含まれています)

1人でも多くの仲間をつくり、団結して声を上げよう!

秋の拡大月間に向けて

組織部長
津田 光久

2025年度の秋の拡大が始まります。建設業では厳しい労働条件・安い賃金・休みが取れない等の声を聞き、要求実現のための建設アクションそして、請求要求運動の周知と実践、地域活動と連動した仕事確保を「自治体要請」につなげていく取り組みが推奨されています。

この運動を成功させるには多くの仲間の声・数の力が必要です。建設国保に対する補助金確保のため、一枚でも多くのハ

最近の拡大は、事業所に加入する人が大勢を占めています。まだまだ個人で労働組合に加入していない人も多くいます。コロナ禍で組合員の方々と顔を合わせていなかった分、訪問を多く行ない、未加入者情報を聞き、組合の優位な点を伝えていきます。

近年拡大行動等の組合活動に参加して頂いていた方達の高齢化により、自転車での訪問にも支障が出ています。早急に関者を見つけて若い力で活動出来るよう、若手組合員に積極的に訪問して口説いて下さい。

支部では秋の一大イベントとして、大勢の参加で、BBQ大会を開催することを目指しています。秋の拡大行動前半戦は、ぜひ勧誘を忘れずに行なうて下さい。

最後になりますが、一人でも多くの仲間を増やして頂き、早期に2100名支部に到達する事が出来る様、頑張ってください。



目標達成目指し、がんばろう!

被爆80年・原水爆禁止2025世界大会(長崎)報告

学んだ事を子供たちと

常任執行委員

石井 伸弥

私は二人の子を持つ48歳の造園工です。今回、原水爆禁止世界大会に初めて参加させて頂きました。

地公園を見学に参加しました。中でも強い爆風と熱線によって幹が焼け枝葉も吹き飛ばされ、一時的に枯れ死寸前となったが、被爆から2年後、奇跡的に新芽を出し、樹勢を取り戻した山王神社の『被爆クスノキ』があると知りました。

ただ、昨年の日本被団協がノーベル平和賞を受賞した事が唯一の慰めであり、平和行動の追い風になる事を願うばかりです。

被爆体験の継承と未来

豊越分会長

松井 広仲

8月7日(木)～9日(土)の3日間「被爆80年・原水爆禁止2025世界大会・長崎大会」に参加させて頂きました。

二日目は動く分科会「被爆遺構めぐり」に参加しました。ガイドが説明する被爆遺構の一つ一つは全て核兵器の深い爪痕です。核兵器の無い平和な世界、戦争のない平和な世界を実現するため、世界の一人ひとりが広島・長崎から学ぶべきであると思います。



動くことのない被爆時計 (石井さん提供)

分科会は、浦上天主堂長崎医科大学のゲストハウス・山王神社の被爆クスノキ・一本柱鳥居・爆心

また、日本政府が原爆投下の事実をアメリカと共に隠ぺいしたという話は信じ難い事でした。なおかつ、核兵器禁止条約を批准しない日本とは何なのかと怒りを覚えます。



一本柱の鳥居 (松井さん提供)

▼近年、日本では極端な気象現象が頻発しており、大きな社会問題となっている。◆今年の夏は、全国的に気温が35度を超える猛暑日が続く。時には40度を超える地域もあり、熱中症による救急搬送や、死亡事故が後を絶たない状況です。◆一方で梅雨の時期には雨が少なく、今年は空梅雨で農作物の被害が心配されましたが、ちょうど、お盆の時期に「線状降水帯」による集中豪雨が各地で発生し、ひと月以上の雨が一日で降るなど、河川の氾濫や土砂災害、住宅の浸水など甚大な被害をもたらしました。◆これらの背景には、地球温暖化による気候変動があるとされており、今後もさらに深刻化することが懸念されています。◆このような状況で国や地方自治体は、災害対策の強化と同時に、温暖化対策や、地域の防災意識の向上を図る必要があると同時に、私たちも、自身に何ができるのかを考え行動することが求められています。◆たとえ小さな一歩でも、その一歩が現在の原因となり、その先の未来への結果として続いているのですから。

(豊越分会 河崎弘樹)



被爆者の話に涙

主婦の会副会長
村越 千秋

今年度、主婦の会南部ブロックより常任委員に選出され、本部主婦の会の枠で、今回で初めて原水爆禁止世界大会(長崎)に参加させて頂きました。

5月に参加している平和と大行進が、この大会の広島会場に向けて行なわれていることは知っていましたが、まさか自分がその大会に参加できるとは思ってもいませんでした。

今回の大会で一番印象に残っているのは、1日目の全体会で聞いた被爆者のお話です。

していると胸が苦しくなり涙がこみ上げてきました。想像を絶する痛みや苦しみに、耐え続けてきた多くの被爆者の勇気ある行動のおかげで、私たちは原爆の恐ろしさを知ることが出来ていることを強く感じました。

そして、戦後に生まれた私たちは、被爆者だけではなく、先の戦争で命を落とした多くの人々の平和への願いを受け継いでいかなければいけないと強く感じました。

く思いました。三日間を通して、お話をされた多くの方が、「今世界は危機的状況にある」ことを伝えていました。世界各地で起きていることを他人事ではなく、自分事として感じ、今できることは何かを考え、小さなことからでも行動しなければいけないと思いました。

戦後80年という節目の年にこのような機会をいただけたこと感謝いたします。



被爆者・田中さんの証言(村越さん提供)



左から村越さん、石井さん、松井さん、村越さん提供

いっぷく

会話と対話

南品川分会

櫻井 守

昨今、歳のせいかわかると忘れることが多く、この記事を書くにあたり、頭に浮ぶのは昔の事ばかりです。

今でも思い出すのは、妻が亡くなり半年過ぎた頃の話です。私は仕事と

家事に追われ大変忙しくイライラしていた時、高2の娘がのんびりしているのを見て「お前も少しは手伝え」と語気を強めて放った言葉に「手伝っている」と返され力こ

となり「何を手伝っている」と、さらに語気を強めて言う「洗濯していろよ」と返され「バカ!

洗濯なんか洗濯機がやっ

ていように会話をしまし

た。今思うと無視もせず、数々のケンカ相手に

人は無視されるのが一番辛いと思いますので、

会話と対話を大事にしたい心掛けています。世界が

大変になっていく今こそ、会話と対話が



自主共済のメリットを組合員の方々に

7.31 支部共済学習会開催

厚生文化部長
岡崎 新治

7月31日に中小企業セ

ンター3Fにて、支部共済学習会を66名の参加で開催しました。

毎年開催している共済学習会ですが、今回は日

本人の2人に1人がかかる

の保険加入に関し、深く考えさせられました。どけん共済会メインのどけん火災共済・地震共済に関しても、改めて落雷・部分火災・自然災害(突風)による被害時に、給付される金額がいくらなのか、普段頻繁に起こる事案でないため、自身自身もこんな保障が付いていたのか、その際に罹災証明書や、落雷によるテレビ・エアコン修理時には、「落雷の為」との記載が必要等、色々な知見を改めて得ることができました。

今後、どけん火災共済・地震共済の他損保会社

社にない圧倒的な安さ、自主共済ならではのメリットを組合員の方々に知って頂き、多くの方に加

入して頂くことが、組合員との結びつきが強まり、組織定着や運動の前進に

不可欠だと知ることが出来た有意義な会議でした。最後に、お暑い中ご参加頂いた組合員の皆様にお礼申し上げます。お疲れ様でした。



片岡書記より「どけん火災・地震共済」の制度説明を受ける



動画を観て確認

品川の商店街
なかのぶスキップロード

中延分会
上野山 和男

私の住んでいる地域は、家を出て、二三百メートルも歩くと駅があり、商店街ありと、意外に便利

な所です。床屋行くつもりで歩くと、駅前通りのスキップ

ロードの看板があり、見上げながら進み、池上線の改札口を左に見て行く

と、昭和通りと交差、その先がアーケードになり、中延スキップロードで30mと続く商店街が連

なり、通りには郵便局を始め、魚屋・八百屋・時計屋・ケーキ屋等々、数え出したらキリがないくらい多彩です。中ほどには中延分会が住宅デーを開催していた商店街の会館があり、客寄せに貢献したと思います。



なかのぶスキップロード 商店街(荏原中延駅口)



全長約330mのアーケード

ぶらり品川

その②①